

# 第17期 事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

## 1 事業活動方針

不登校ないしひきこもりなどを経験したため、またはその状況を継続しているために、一般的な就職などによる社会的自立が困難になると予想される、または現実に困難になっている青少年（以下 青少年）に対して、それらの状況から脱却する機会を提供し、かつ社会的自立を援助する活動として、社会参加上、重要な共同生活及び模擬的な就業体験の場を提供することに関する事業を行い、各人の個性に応じた社会的自立への機会を獲得することに寄与することを目的に活動を展開していった。

今年度の一番大きな動きとしては、「ぼによぼによ学童クラブ」がこれまでの放課後児童健全育成事業の枠で補助金を受ける形ではなく、自主事業化し、「放課後ドラマ ぼによ+」として新しいスタートを切ったことである。「おもしろい子(個)を育てる」というテーマを掲げ、それぞれの個性を肯定的に受け止め、「混在の教育」の中で子ども達が生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場づくりを始めている。保護者（PPA：ぼによペアレンツアクションメンバー）にも共に子どもを育てる仲間として、また、法人を支えるメンバーとして協力を仰ぎ、活動に共感を得ながら、それぞれの形で参加できる流れを作っている。

8月21日（金）・22日（土）に薬事保健センターで開催された「K2 オープンフェスタ なりゆき祭」では、法人の活動の範囲が多岐に渡ってきたため、これまで取り組んできたことの棚卸しをおこなった。その中で「居場所から基地へ」という話があり、これまでの居場所と言う考えから、コロンブスが運営するすべての活動の場を基地としてとらえ、各場所で経験したことを活かし、次のステージへと向かい、ここから出て行っても、その上で何かあればまた戻ってこられる場を作ることがより重要だと改めて確認することができた。

事業計画に掲げた3つのテーマについては以下の通りである。

### 1. おもしろい子(個)を育てる

このテーマは子ども達のみならず、何歳で出会ったとしても、一般の社会生活において、困難や生きづらさを抱えている一人ひとりを「問題や課題がある存在」「協調性がなく迷惑をかける存在」ではなく、「おもしろい個性」「興味深い存在」として捉え、関わる。「特別視はせず、特別扱いをしていくこと」は、不登校支援・自立援助ホーム・南部ユースプラザ・カナカツ・いろは塾・ぼによ+・子育てスポットくすくす・プレ教室ぽっかぽかなど、法人の行っているそれぞれの事業を行っていく上でとても重要な視点となっている。スタッフに対しても、それぞれの強みを生かすことができるようにお互いの凸凹を補い合い、それぞれに対する配慮に努めていった。生徒もスタッフもそれぞれが多様な価値観、多様な生き方を受け入れ、理解することを目指し、法人内部のみならず、外部にも継続的に発信を行った。

### 2. 途切れのない支援の形を目指す

子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない支援を目指して一つ一つの事業に取り組んでいった。多面的な視点を持ち、具体的に今、必要なことは何かを問いながら、K2グループ内のスタッフだけでなく、専門機関との連携や地域の資源を活用しながら、支援の輪を作っていくことを心がけている。どの年齢、どの段階でも相談を受けられるような体制づくりが必要であり、特に学齢期や思春期の時期の相談を受けられるように、毎年行っている不登校相談電話窓口の設置、不登校相談会や思春期セミナーなどに加えて、今年度は赤レンガ倉庫にて「不登校・ひきこもり集中相談会」を開催し、学齢期の子どもたちのことで悩む親子から多くの相談が寄せられた。

また、今年度は生活困窮者自立支援法が施行されたこともあり、「生活困窮世帯への支援」が重要なテーマとなりました。自立援助ホームや南部ユースプラザ、いろは塾の支援を通じて、各現場で様々なケースを目の当たりにし、また支援者が集まる南部地域若者支援連絡会では新制度について学び、実際のケースで具体的にどのように連携ができるかを話し合うなど、本人への対応や関係機関との連携について考えさせられる一年でもあった。

### 3. 支援の循環

出会ったこども・若者を「チームで支援すること」から「チームのメンバーとして迎え入れる」ことを意識し、それぞれの活動に取り組んできた。かつての相談者、生徒という立場から、自分たちの法人の活動を守り、支え、発展させていく存在へと成長し、新しく入ってくるメンバーに対して、「恩送り」していく流れができつつある。また市民活動支援・相談窓口事業を通じて、近隣の団体の相談に対応するなど、法人としても「恩送り」を実践できたことは有意義であった。

今後は、それぞれの事業から送り出したOBとの関わりをどう保っていくのか、困った時に相談できる関係づくりや応援会員などの恩送りの仕組みをさらに充実させていくことが課題である。

## 2 事業内容

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 社会参加基礎訓練等の場を提供するための寮施設兼生活指導施設の運営

##### ①児童自立生活援助事業 自立援助ホーム

- ・K2ハウス寮、オラシオ寮の2棟を運営。
- ・それぞれの自立を目指して、個別支援計画を作成し、生活面やメンタル面のサポートに加え、高校の通学のサポート、就業支援・職場への定着支援を行っていった。
- ・児童相談所の児童福祉司・心理士や関係機関と連携し、ケースカンファレンスや面談や定期的な連絡などを重ね、本人にとってよりよい支援の形を目指し、一人ひとりに対して具体的なサポートを継続して行った。
- ・全国自立援助ホーム協議会の研修に参加し、国内の自立援助ホームのホーム長やスタッフとの交流や学びを深めた。
- ・横浜市社会福祉協議会の会員になり、児童福祉部会に出席し、横浜市の関係部署や市内の児童養護施設やファミリーホーム、自立援助ホームなどとの情報交換や関係作りに努めた。
- ・オラシオ寮は本年度から女子の受け入れを行った。男子とはまた違った女子の課題があることを学び、支援の難しさを感じる場面もあった。

日時	通年
場所	K2ハウス寮（横浜市磯子区中浜町）・オラシオ寮（中区根岸町）
主な従事者人員	5名
対象者	義務教育終了後～20歳までの男子で、児童相談所が必要だと認めた者
定員	各寮6名
実績	体験 K2ハウス寮 3名・オラシオ寮 4名 入寮 K2ハウス寮 4名・オラシオ寮 3名

#### (2) 青少年とその保護者などに対する相談・支援

##### ①不登校支援

- ・神奈川県から補助を受けて「不登校の青少年と家族の相談事業」を実施した。
- ・日常的な電話・メール相談の対応、有料の個別面談を行った。
- ・寄せられた相談について、学齢期のうちに必要な支援につながるような流れを作っていくように意識して丁寧な対応を行った。
- ・6月には都筑区での思春期セミナー、10月には3日間の無料集中相談会（神奈川県・横浜市教育委員会 後援）を開催し、不登校で悩む保護者や本人から多くの相談が寄

せられた。

- ・不登校の子どもたちの通いのプログラムの形を整え、9月よりK2オルタナ Base を始動している。

日時 火曜日～金曜日 11時～15時（電話相談・個別面談）  
場所 横浜市磯子区東町9-9 3階  
主な従事者人員 2名  
対象者 青少年および保護者、関係者

## ②よこはま南部ユースプラザ

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラム、就労支援セミナーの実施。  
講座：職業人セミナー・ボイストレーニング・ゴスペル講座・コミュニケーション講座・スポーツデー・PCセミナー・かんたんアート・ワークショップ・横浜美術館プログラム・ファンケル、ボディショップ他企業のCSRを利用した講座等。  
居場所活動：ユースの会・野球ファンの集い・鉄道ファンの集い・夕食交流会・女子だけの Afternoon Tea 等。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくりのための年に3回の南部地域若者支援連絡会、年に2回のなんぷら研修会を開催。

\*4 ユースプラザ合同連絡調整会議：隔月に1回開催（偶数月の第3月曜日）

\*三機関連絡会：年に2回開催

\*保護者交流会：毎月第3土曜日開催

\*南部地域若者支援連絡会：全3回・平成27年6月16日（火）、10月18日（木）、平成28年3月3日（木）

\*なんぷら主催研修会：平成27年7月28日（火）、12月11日（金）

\*横浜市モデル事業 よこはま応援パートナー金沢

2クール実施（講座全12回）のべ参加人数147名、応援パートナー登録者数14名

開所時間 月曜日～金曜日 11時～19時 居場所・相談室  
土曜日 11時～19時 相談室のみ

場所 横浜市磯子区西町12-1号  
根岸駅前第二共同ビル2階 206・208号

主な従事者人員 8名

対象者 横浜市内にお住まいのおおむね15歳～40歳未満の若者およびその家族

開所日数 282日

来所者数 のべ8,693名

相談実績 面接相談 のべ1,103件・電話相談 のべ510件

インターネット相談 のべ256件

社会／就労体験事業参加者 のべ2,458名

## ③訪問事業（メンタルフレンド）

- ・ひきこもり状態にあり、自分では出て来られない、家族だけでは煮つまった関係になっていると相談が寄せられるが、訪問には至らず、他のプログラムなどに利用につながるケースが多かった。今後は、不登校相談の電話窓口やオルタナ Base の活動の中で必要な相談対応をしていく。

日時	通年
場所	コロンブスアカデミー事務局および訪問先
主な従事者人員	2名
対象者	ひきこもり状態にある青少年やその家族
実績	相談対応のみ

#### ④金沢区寄り添い型学習等支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ中学生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施する事業を実施。
- ・対象は生活保護を受けている家庭の子どもだけではないが、大半は生活保護受給家庭で、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・今年度は、夏から秋にかけて1年生の見学・登録が多く、見学した生徒は全員登録しており、登録後はそれぞれ自分のペースで通ってきている。1年生のうちから学習習慣を身につけることができるのは有益であった。他の学年も合わせて、週に2回の基本利用日以外も自習のために通って来る生徒が増え、一日の利用人数が昨年度よりも多くなった。また、相互に交流する姿が見られた。学校の枠を超えて、お互いに刺激を受け合うことは、時にはトラブルを生むこともあるが、おおむねそれぞれの成長にとって大きな成果が感じられた。
- ・受験に向けての学習支援を進める中で、日常の居場所にもなっており、受験後も足繁く通う場にもなっていること、おやつ作りには張り切って参加する子がいることから、ますます生活支援の重要性を感じている。
- ・大学生のボランティアも定着し、今年度は特に横浜市立大学のボランティア支援室からの紹介が多かった。生徒にとっては、将来を真剣に考える大学生の姿は、自分達の少し先に行く先輩としていい刺激になっている。
- ・高校進学後もフォローを必要としているメンバーが多く、金沢区青少年の活動拠点（カナカツ）と協力しながら見守りや必要な声かけを行った。

日時	火曜日～金曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～18:00
場所	横浜市金沢区洲崎町2-6 5階	
主な従事者人員	3名	
対象者	養育環境に課題があり、支援を必要とする中学生および保護者	
開所日数	244日	
登録者数	33名	
参加人数	のべ1,215名	

### (3) 青少年の自立に関する情報提供

#### ①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため年2回KIAORAを発行する。KIAORAはホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも配布、設置を依頼し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。

日時	ホームページの更新は随時
	KIAORAの発行 2015年9月・2016年3月
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、地域の関係機関・関係団体など

#### (4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

##### ①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティアとして参加する人も増えてきたので、次の世代へうまく引き継いでいけるような流れを作ることを意識して活動を行った。
- ・親のリフレッシュや用事の際に利用できる一時預かりの周知も積極的に言い、昨年よりも利用が増えた。
- ・日常の活動の様子や今後の予定をこまめにホームページ・ブログから情報発信を行うよう心がけ、少しずつ改訂を行っていった。
- ・地域の関係機関・関係団体との連携を深める。今年度は特に磯子区内の子育て支援拠点と各広場との会議を定期的で開催し、情報交換が活発に行われるようになってきた。地域で気になる親子について児童相談所や区の保健師とも情報共有やケースカンファレンスなど具体的な連携を行った。
- ・同じフロアのぽによ+の小学生が乳幼児の面倒をみたり、その姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができ、ぽによ+との交流が保護者自身の学びや発見の場になっていた。また、くすくすのママサポーターや講師がぽによ+で小学生向けの講座を担当してくれることもあり、活発な交流が行われた。

日時	月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	磯子区東町 9-9 2階
主な従事者人数	4名
対象者	乳幼児親子
開所日数	233日
来所者数	2069組 4411名（一日平均 8.9組 18.9名）
一時預かり利用数	311件 計 766時間（月平均 25.9件 63.8時間）

##### ②プレ教室 ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。「こどもだけで活動に参加する経験」や「家庭ではできない体験をすること」を目的に、保護者もこども達もスムーズに幼稚園や保育園に移行できるように意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、交流の場を作った。
- ・発達の相談も多く、子どものサポートだけではなく親のサポートも丁寧に行った。療育センターと繋がっている子もいて、次年度もさらに親へのサポートが課題となっている。
- ・通ってきた親子からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、スタッフや保護者との関係が深まったことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。きょうだい児で再び参加するケースも増えている。
- ・若者支援の取り組みについても理解を深めてもらおうと、法人の全体行事にも積極的に参加してもらい、子ども達の将来の不安も解決策も具体的に示していけるように意識して関わりをもった。特に、ファームイベントではいろいろな世代・経験を持った方との交流や自然体験ができ、また参加したいとの感想が多かった。次年度は座談会を開催し、法人スタッフも参加し、連携していきたいと考えている。

日時	年間 全 40回（木曜日 10:00～11:30）
場所	磯子区東町 9-9
主な従事者人数	3名
対象者	乳幼児親子
登録予定人数	12名
実績	のべ 413名

## (5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

### ①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・1階フリースペース部分では地域の中高生向けに駄菓子屋販売を行い、居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。
- ・イベントでは、利用している子ども達も一緒に準備を行い、11月の秋まつり（87名参加）と春まつり（103名参加）には大勢の参加者が集まり、にぎわいを見せた。毎年恒例となっている金沢区民まつり「いきいきフェスタ」にも出店をおこなった。
- ・青少年交流ステーション・かなざわの入居団体が協力し、3階スペースを活用し、百人一首・工作などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・金沢高等学校の美術部の協力を得て、駐車場に高校生がデザインした壁画がペンキで描かれ、明るい雰囲気になった。
- ・横浜市立大学 三輪研究室と協力し、並木ラボでも「出張カナカツ」を実施。
- ・生きづらさを抱える若者を受けとめる就労研修の場としても機能していた。
- ・近隣の学校に訪問、校長会や民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、金沢区施設連絡会、南部地域若者支援連絡会などにも参加。

日時	火曜日～金曜日 15:00～18:30 土曜日 13:00～17:00
場所	横浜市金沢区洲崎町6-2
主な従事者人員	3名
対象者	地域の小～中高生、地域の人たち
開所日数	239日
参加者	のべ8,220名
入居団体連絡会	隔月開催 全6回 4月23日(木)・6月25日(木)・8月27日(木) 10月22日(木)・12月17日(木)・2月25日(木)

## (6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

### ①放課後ドラマ ぼによ+

- ・自主事業として「おもしろい子(個)を育てる」をテーマに、単に安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・夜間・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた。
- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・虫キャンプやぼによ合宿、ニュージーランドツアー等の特別な宿泊体験行事も行き、学校や家庭では体験できないことにも取り組むことができた。
- ・放課後の時間帯に習い事ができるように、ぼによ塾のピアノ教室・英会話教室をおこなった。高学年になってもぼによ塾に通って来る児童もいた。発表会では、子ども達の励みにもなり、保護者も観に来てともに成長を喜んでいた。
- ・PPA(ぼによペアレンツアクションメンバー)の活動も毎月のおやつ作りやイベントなど保護者が参加する場面が増え、自分の子どもだけでなく、他の子どもたちやぼによのスタッフとの関わりも多くなってきた。夏休みのプログラムとして、K2グループ内の各事業所で子どもたちの職業体験を受け入れてもらった。その送迎にPPAに協力してもらった。「働く」体験をするだけでなく、いろんな大人との関わりをもつ良い機会となった。

日時	終日（必要に応じて対応）
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、その他
主な従事者人員	5名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	296日
登録人数	86名
登所人数	のべ10,468名（平均35.3名）
ぽによ塾	ピアノ 登録13名・のべ828名（66回実施） 英会話 登録22名・のべ510名（144回実施）
登録児童の所属小学校、保育園	根岸小 47名・間門小 8名・杉田小 6名・浜小 4名・森東小 4名 国大附属 3名・滝頭小 2名・本牧小 2名・山手中華 1名 雙葉小 1名・洋光台第2 1名・サンモール 1名・梅林小 1名 横浜ナーサリー 1名・太陽の子不動下保育園 1名・星の子保育園 1名

## （7）その他の事業

### ①市民活動・相談窓口事業

- 横浜市市民活動支援課から委託を受け、認定NPO法人としてこれから市民活動を始めようとしている団体や活動をしている団体の相談等を受け付ける事業を実施。相談会で10件、事務局では2件の相談に対応し、必要な助言・情報提供をおこなった。

日時	月曜日～金曜日 10:00～17:00
場所	横浜市磯子区東町9-9
主な従事者人員	2名
対象者	地域の市民活動団体・NPO法人等
実績	12件

### ②実習生の受け入れ

- 社会福祉士などを目指す学生の実習の受け入れを行った。
- いろいろな部署での受け入れを通して、法人の理念や目指している方向性を知ってもらえるように毎日、振り返りを実施。イベントにも積極的に参加し、実習後もボランティアに来てくれている。

日時	8月17日～9月14日
場所	横浜市磯子区東町9-9
主な従事者人員	1名
対象者	社会福祉等を学ぶ大学生
実績	神奈川県立保健福祉大学3年生 1名

### ③採蜜ワークショップ

- ドコモから市民活動助成を受け、採蜜を通して地域の異世代交流の場を作る。
- 毎回、幼児・小学生・中学生・大学生・大人などいろいろな世代が参加してくれたので、地域の人との出会いの場・交流の場となっていた。子ども達の存在が交流のきっかけを生み、新しい体験を共有することも非常に有効だったと思われる。ハチミツを味わいながら、自然と会話が生まれていたのが印象的だった。自分たちが住む「根岸」で採れたハチミツということから、とても熱心に話を聞いてくれる方が多く、質問も活発に出ていた。法人の活動を知ってもらう良い機会にもなった。

日時	4月25日（土）・5月13日（土）・6月13日（土）・8月5日（水） （全4回）
場所	Honey Café Boom Boom（横浜市磯子区原町2-13）

主な従事者人員 2名  
対象者 地域住民

#### ④応援会員の募集

- ・法人の支え手を増やすために、PPAサポーター会員・ユースサポーター会員・ジュニアサポーター会員の3つの応援会員を創設。
- ・今年度は、PPAサポーター会員については呼びかけを継続的に行うことができたもののユースサポーター会員やジュニアサポーター会員については、呼びかけが不十分だったため、次年度は積極的に応援会員を増やす働きかけをしていきたい。

実績 PPAサポーター会員 25口(23名)  
ユースサポーター会員 6口(4名)  
ジュニアサポーター会員 3口(3名)

#### <主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

- 4月1日(水) 入社式・避難訓練・お花見  
4月7日(火) いそごひろば連絡会 参加  
4月10日(金) 磯子区NPO連絡会 参加  
4月15日(水) 自立支援協議会 参加  
4月23日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催  
4月25日(土) 採蜜ワークショップ 開催  
4月27日(月) 全国自立援助ホーム協議会 ホーム長研修会 参加  
5月7日(木) はっちネット 参加  
5月11日(月) 児童福祉部会 参加  
5月13日(日) 採蜜ワークショップ 開催  
5月18日(月) 磯子区NPO連絡会 参加・児童福祉部会 参加  
5月22日(金) こども子育て会議 参加  
5月27日(水) NPO講座(市民活動支援センター) 参加  
5月30日(土) ぼによ+OB会 開催  
6月5日(金) 根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 参加  
6月6日(土) 芋掘りイベント 参加、くすくす交流会 開催、県教委主催 不登校相談会 参加  
6月8日(月) 第32回理事会 開催  
6月9日(火) 金沢区・いろは塾定例会議 開催  
6月10日(水) 磯子区自立支援協議会 参加  
6月13日(土) 採蜜ワークショップ 開催  
6月16日(火) 南部地域若者支援連絡会 開催  
6月18日(木) 金沢区施設連絡会 参加  
6月19日(金) 第28回総会・第33回理事会 開催  
6月20日(土) 採蜜ワークショップ 開催  
6月22日(月) 思春期セミナー(つづきMYプラザ) 開催  
6月24日(水) 出張カナカツ(並木ラボ) 開催  
6月25日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催  
6月26日(金) 児童福祉部会 参加  
6月27日(土) ぼによ+保護者会 開催  
7月2日(木) はっちネット 参加  
7月8日(火) かながわアフターケア勉強会 参加(活動紹介)  
7月9日(水) カナカツ3階オープンデー 開催  
7月10日(金) 磯子区NPO連絡会 参加、子ども子育て会議 参加  
7月14日(火) いそごひろば連絡会 参加  
7月23日(木) 主任児童委員連絡会 見学  
7月27日(月) はっちネット学習会「放課後支援」 参加(活動紹介)



7月28日(火) 昭和女子大学 見学受け入れ  
南部ユースプラザ研修会 開催

7月29日(水) ~31日(金) ぽによ+ 虫キャンプ

8月3日(月) 横浜市教育委員会 ハートフルスペース見学会・意見交換会 参加

8月4日(火)・5日(水)・7日(金) カナカツ ふきのとうボランティア体験 実施

8月5日(水) 自立支援協議会 参加

8月21日(金) K2 なりゆき祭 開催

8月22日(土) K2 なりゆき祭・夏祭り 開催

8月27日(木) カナカツ入居団体連絡会・3階オープンデー 開催  
自立支援協議会 課題別検討会 参加

9月3日(木) はっちネット 参加

9月4日(金) 根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 参加

9月5日(土) 県教委主催 不登校相談会 参加

9月9日(水) 神奈川県中央児童相談所「じりつの館」見学

9月10日(木) いろは塾・金沢区との定例会議 開催

9月12日(土) フリフリフェスタ 出店

9月16日(水) 地域活動拠点連絡会 参加

9月17日(木) カナカツ施設連絡会 参加

9月18日(金) 綾瀬市公民館講座 講師

9月29日(火) 磯子区NPO連絡会 参加

10月3日(土) 横浜市教委主催 保護者のつどい 参加(活動紹介)

10月8日(木) 横浜子ども支援協議会 参加・南部地域若者支援連絡会 開催

10月14日(水) 磯子区自立支援協議会 参加

10月16日(金) ~18日(日) 不登校・ひきこもり集中相談会(赤レンガ倉庫) 開催

10月17日(土) 金沢区いきいきフェスタ(海の公園) 出店

10月19日(月) 横浜市アフターケア勉強会 参加(活動紹介)

10月21日(水) 健康福祉局 いろは塾 見学来所

10月22日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催

10月24日(土) 芋掘りイベント 参加

10月26日(月) つどいの広場Bブロック勉強会 参加

10月29日(木) カナカツ入居団体 避難訓練 実施

10月30日(金) 子ども子育て会議 参加

11月5日(木) はっちネット研修会 参加

11月10日(火) いそごひろば連絡会 参加

11月11日(水) 児童福祉部会 参加

11月12日(木) 市教委4名 見学

11月13日(金) 子ども若者支援協議会 参加

11月16日(月) はっちネット講演会 参加、磯子区NPO連絡会 参加

11月17日(火) いそごひろば連絡会 参加

11月19日(木) 根岸・滝頭・岡村地区子育てフェスタ 参加(活動紹介)

11月26日(木) カナカツ秋まつり 開催

11月28日(土) ぽによ+28年度入所説明会・保護者会 開催

12月1日(火) 自立援助ホーム 運営指導

12月4日(金) あすなろサロン 参加

12月9日(水) 自立支援協議会 参加

12月10日(木) WAM研修会 講師

12月11日(金) 南部ユースプラザ研修会 開催

12月17日(木) カナカツ入居団体連絡会・3階オープンデー 開催

12月23日(水) クリスマスフェスタ 参加

12月29日(火) 大掃除・餅つき大会

1月5日(火) 磯子区新春の学びの会 参加

1月6日(水) 横浜子ども支援協議会 参加

- 1月7日(木) 金沢区専任会研修会 活動紹介・はっちネット 参加(事例提供)
- 1月13日(水) ユースプラザ施設長 研修会 参加・拠点運営者会議 参加
- 1月15日(金) 出張カナカツ(並木ラボ) 実施
- 1月16日(土) 市教委主催 不登校座談会 参加
- 1月21日(木) 子ども子育て会議子育て部会 参加
- 1月29日(金) 児童福祉部会 参加
- 2月2日(火) つどいの広場Bブロック会議 参加
- 2月5日(金) 一時預かり情報交換会、磯子区子育て支援連絡会 参加
- 2月9日(火) いそごひろば連絡会 参加
- 2月15日(月) 自立支援協議会課題別検討会 参加
- 2月20日(土) ぽにょ+オンライン説明会 開催
- 2月23日(火) 自立援助ホーム緊急学習会 参加
- 2月25日(木) カナカツ入居団体連絡会・カナカツ春まつり 開催
- 2月29日(月) 旭児童ホーム 見学来所
- 3月2日(水) いろは塾・金沢区定例会議 開催
- 3月3日(木) はっちネット 参加、南部地域若者支援連絡会 参加
- 3月7日(月) 児童福祉部会 参加
- 3月12日(土) ぽにょ+保護者会 開催
- 3月16日(水) 認定・指定NPO 意見交換会 参加

### <助成実績>

- \* 神奈川県委託事業 フリースペース等事業費補助金(不登校相談)
- \* 児童自立生活援助事業 自立援助ホーム(K2ハウス寮・オラシオ寮)
- \* 横浜市地域ユースプラザ事業(よこはま南部ユースプラザ)
- \* 横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点(カナカツ)
- \* 金沢区寄り添い型学習等支援事業(横浜いろは塾)
- \* 横浜市補助事業 親と子のつどいの広場(子育てスポットくすくす)
- \* 横浜市委託事業 市民活動支援・相談窓口事業
- \* ドコモ市民活動団体への助成
- \* Shinjoプロジェクト 自立援助ホーム支援助成